

登山口詳細案内図

()内はメートルによる距離表示です

●七座山の山名
七座山のそれぞれの山名は、紀行文などに数多く絵図や記録が残されており、表記は「〇〇座」又は「〇〇倉」と統一されていないが、地域では「座」と用いた、〇〇座の名称で親しまれている。また、資料により名称に若干の違いがあるが、このマップは、1881年(明治14年)の天皇巡幸図(宮内省)に基づいた名称としている。



山神様(さんじんさま)
山仕事の安全守護の神様。七座山の聖観音は天長2年(825)に弘法大師によって彫られた。



法華の岩屋(ほっけのいわや)
蜂の巣状の窪みにある巨大な岩屋。昔は行者の修行の場所であったといわれている。



権現様(ごんげんさま)
天安元年(857)に慈覚大師によって彫られたといわれる獅子頭が、巨岩の下に祀られている。

ごんげんくら
権現座(倉)
287.4m

えぼしくら
烏帽子座(倉)
229.6m

みのくら
養座(倉)
192.4m

しばくら
芝座(倉)
173.1m

さんぽんすざくら
三本杉座(倉)
153.7m

おおくら
大座(倉)
163.6m

まつくら
松座(倉)
159.1m

登山コースガイド

数カ所の登山道が山の中腹を横に走る遊歩道で結ばれていて、いろいろなコースが選べます。体力に合わせたコースで、七座山を満喫してください。

権現座(倉)コース (約140分) 体力☆☆

山神様、権現様、法華の岩屋など、七座山の見どころを全て楽しめるコースです。登山口①～山神様～権現様～法華の岩屋～権現座(倉)～養座(倉)展望台～登山口②

七座縦走コース (約180分) 体力☆☆☆

七座山の七つの峰を縦走するコースです。日本海からの涼しい風を受けて、心地よい汗をかきましょう。登山口⑤～松座(倉)～大座(倉)～三本杉座(倉)～芝座(倉)～養座(倉)展望台～烏帽子座(倉)～権現座(倉)(往復)

オススメコース (約80分) 体力☆

気軽に散策を楽しめるコースです。権現様や七座山の原生林を眺め、展望台からの景色を楽しめます。登山口①～山神様～権現様～東屋～養座(倉)展望台～登山口②

凡例
— 権現座(倉)コース
— 七座縦走コース
— オススメコース
— 登山道
①～⑧ 登山口
◎ 展望台

銀杏山神社
天然記念物の銀杏

七座神社
七座山の七つの座を見渡せる場所にある七座神社は、658年阿部比羅夫が蝦夷征伐のため訪れた際に戦勝祈願のため建立したといわれています。また、境内には幹周日本一のクロビイタヤが生育しています。

きみまち阪
県立自然公園

NPO法人
二ツ井町観光協会

道の駅「ふたつ」

